

2 水道事業の現況

1 給水量

現在の給水能力は、水道事業創設当時(旧門司市:8,700m³/日)の88倍、一日76.9万m³となっており、令和元年度の年間総給水量は、1億1,164万m³であった。

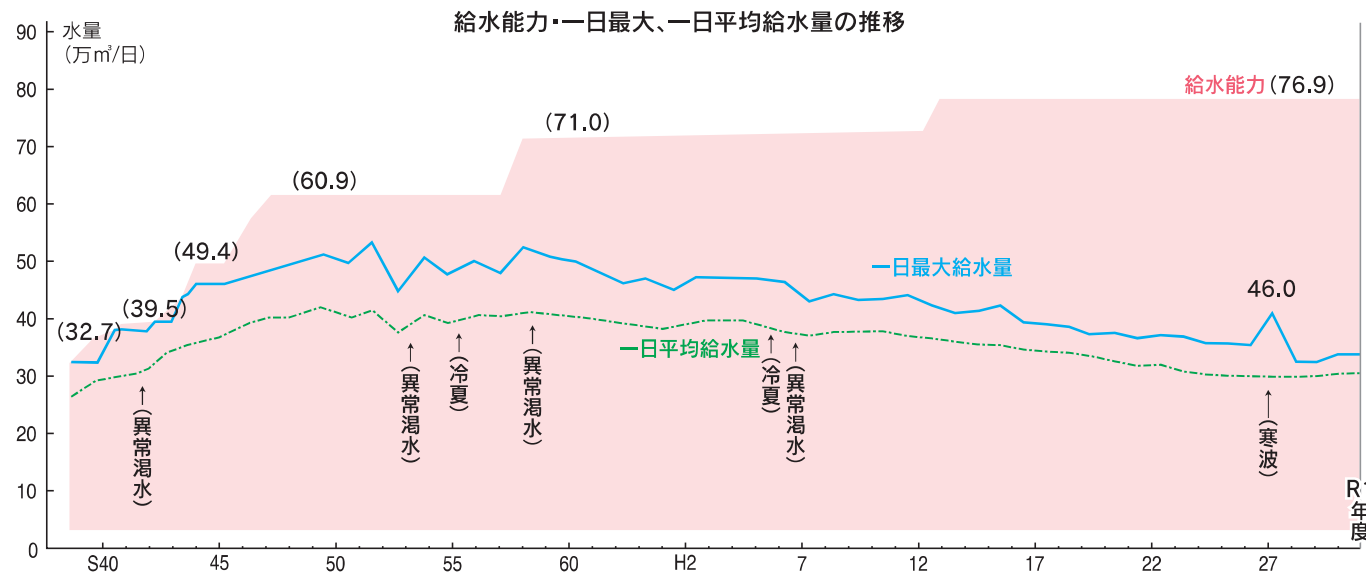
(1) 一日最大給水量

戦後、年を追うごとに増加の一途をたどってきたが、昭和40年代半ば以降は微増の状態推移し、昭和52年の夏に過去最高(1日52万4,000m³)を記録した。その後は、渇水、冷夏等もあって不規則な動向を示してきた。平成27年度は、40年ぶりという記録的な寒波に見舞われ、給水管等の破損による漏水が多数発生し、1日46万351m³(H28.1.25)となった。

令和元年度の一日最大給水量は、33万7,913m³であった。

(2) 一日平均給水量

昭和50年度までは着実な伸びを示し、その後安定化の傾向を示しながら推移し、令和元年度は1日30万5,035m³であった。



2 普及状況

(1) 給水戸数

令和元年度末は、50万5,268戸(北九州市内は48万6,032戸)となっている。

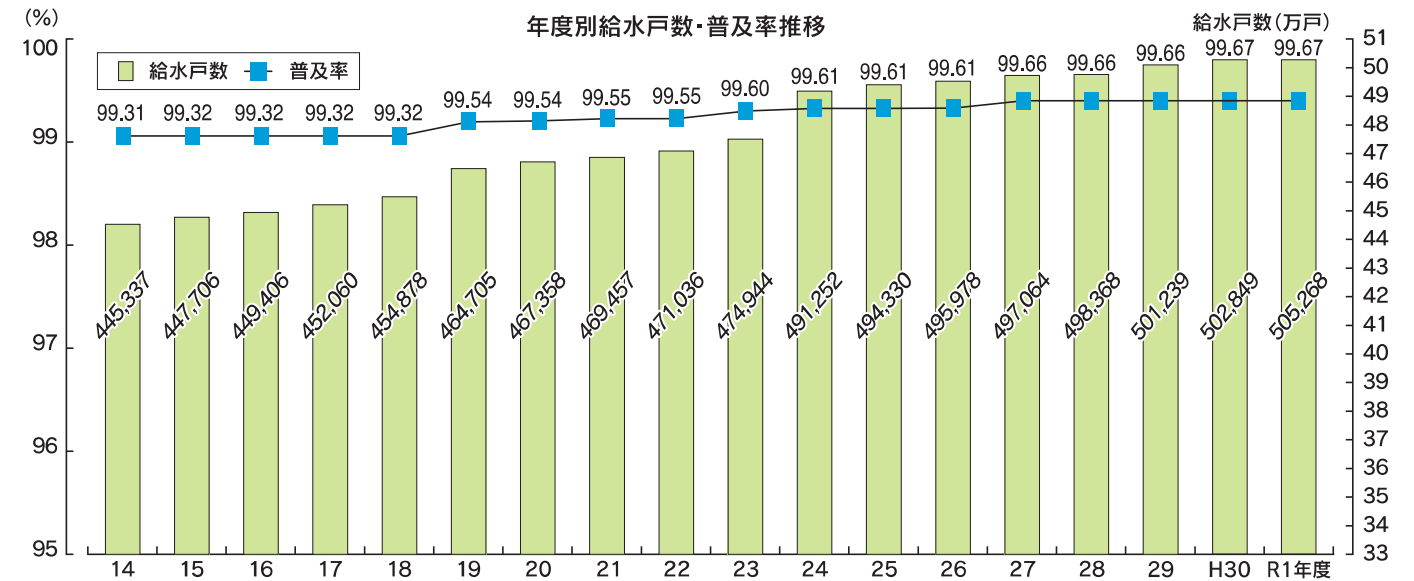
(2) 給水普及率

令和元年度末は99.67%となり、各区・町とも99%を超えて、ほぼ完全普及となっている。

令和元年度 給水普及状況

	面積 (km ²)	行政区域内人口(人)	世帯数(世帯)	給水区域内人口(人)	給水実績		給水普及率 (%)
					戸数(戸)	人口(人)	
門司区	73.67	97,172	49,764	97,147	49,751	96,508	99.34%
小倉北区	39.23	181,118	101,524	181,090	109,598	180,890	99.89%
小倉南区	171.48	209,843	101,344	209,512	99,752	208,080	99.32%
若松区	71.31	82,402	40,170	82,260	38,556	81,971	99.65%
八幡東区	36.26	65,785	34,719	65,576	33,239	65,431	99.78%
八幡西区	83.13	252,894	123,721	252,841	124,429	252,299	99.79%
戸畑区	16.61	57,124	29,926	57,124	30,707	57,124	100.00%
芦屋町	11.60	13,582	6,468	13,199	6,293	13,173	99.80%
水巻町	11.01	28,053	13,349	28,053	12,943	28,053	100.00%
合計	514.30	987,973	500,985	986,802	505,268	983,529	99.67%

※面積は、令和元年10月1日現在。行政区域内人口・世帯数は、令和2年3月31日現在の住民基本台帳人口。



3 口径別給水状況

給水の実態を用途及び口径別にみた場合、令和元年度における一般給水の給水戸数は、どの口径も増加した。

年間使用水量について、令和元年度における一般給水の月平均使用水量は、口径「13~25mm」は5万8,833m³の減、「40~75mm」は2万6,327m³の減、「100mm以上」は7,940m³の増、特別給水は1,724m³の増となっている。

口径別の給水戸数と月平均使用水量(有収水量)

種別、用途及び口径	区分	H29		H30		R1	
		給水戸数(戸)	月平均使用水量(m ³)	給水戸数(戸)	月平均使用水量(m ³)	給水戸数(戸)	月平均使用水量(m ³)
一般給水	13~25mm	496,960	6,942,451	498,542	6,881,093	500,967	6,822,260
	40~75mm	4,019	1,022,439	4,038	1,017,556	4,050	991,229
	100mm以上	158	316,021	160	308,081	161	316,021
特別給水		102	49,382	109	36,235	90	37,959
合計		501,239	8,330,293	502,849	8,242,965	505,268	8,177,163

※「特別給水」とは、湯屋用・臨時用・船舶用などの給水をいう。

